

他人の言動から学ぶべきことは  
 実に多い。それらを如何に吸収で  
 きるか否か、つまり、どれだけ己  
 を進歩させていけるかは自らを謙  
 虚な姿勢に置くことが前提となる。  
 人間は驕ることなく常に謙虚さを  
 持たねばならないのである。

# APCニュース

昭和60年10月 (第224号)

発行者 西日本プラント工業株式会社  
 総務部 東 宗 利  
 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号  
 電話(代)731-4321

印刷 今井印刷株式会社

## 組織の一部を改正

### 情報システム開発チーム 品質保証室・設計室を設置

当社は10月1日付で組織の一部を改正した。

現在、わが国の経済社会は低成長の定着、産業の構造的変化に加えて技術の高度化という新たな潮流が見られるなど大きな転換期を迎えている。また、当社の経営環境においても電源開発のスローダウン、競争の激化、売上高の減少等非常に厳しい状況にある。

そこで、これらの経営環境に対処して新たに発展していくため、今回の組織改正において、企画室、技術部の改組に加え情報システム開発チームの設置、各部門の管理体制強化等の諸方策を行った。

#### 1. 企画室の改組

企画室を企画部と名称変更し企画課が置かれた。また、最近の情報化社会の進展に対処するため現行の企画室内のシステム開発担当を企画部から分離された。

#### 2. 情報システム開発チームの設置

前述の社会情勢に対処し、情報システム開発を円滑かつ強力に推進し、機動的経営体制を整えるため情報システム開発チームが設置された。同チームは部に属さない業務グループとし、現行の企画室システム開発担当の業務を行う。

#### 3. 技術部の改組

##### (1) 品質保証室の設置

品質保証がさかんに叫ばれる近年において、当社の品質

保証活動を全社的に推進するためには統括、整合及び調整を強力に行う部門が必要である。また、客先の品質保証に 대응すると共に当社のイメージアップと受注拡大のためには企業内における品質保証部門の位置づけも重要である。従って、技術部内に新たに品質保証室を設置し、品質保証課と検査管理課が置かれた。

##### (2) 設計室の設置

将来における設計課の位置づけ及び要員数等を考慮し技術部内に設計室が設置された。なお、設計業務は機械、電気の両面にわたり、テーマに応じ随時グループを編成するため課制はとられていない。

#### 4. 各部門の管理体制強化

前述したような社会情勢、経営環境に対処するため営業部、火力部、原子力部、建設部、各営業所・事業所・建設所の管理体制を強化した。

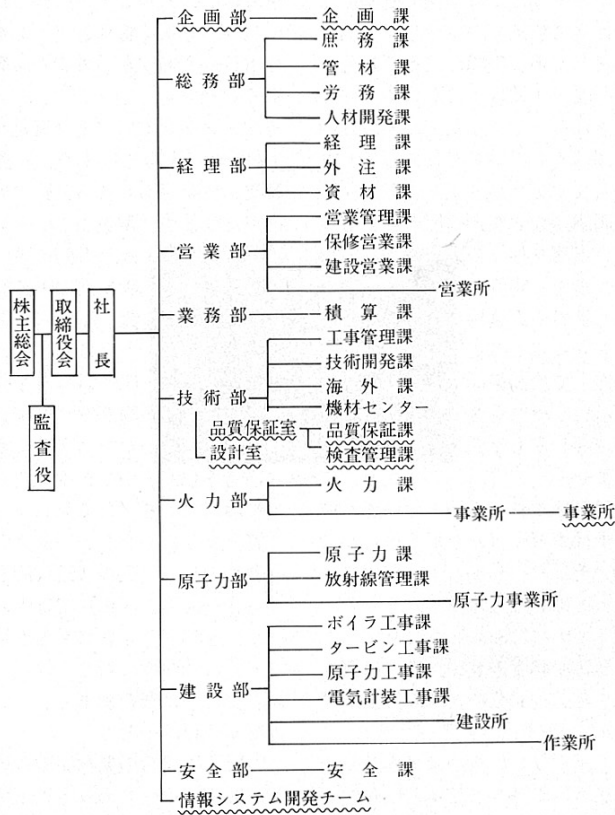
#### 5. 出張所の名称変更

出張所の管理体制を強化すると共に客先へのイメージアップ及び当該機関従業員の士気の向上をはかるため出張所を事業所と名称変更された。また、経済性、地理的条件等を総合的に勘案し、荻田事業所と旧出張所の上部機関は次のようになった。

- 小倉事業所—荻田事業所
- 大分事業所—
  - 八丁原事業所
  - 大分共火事業所
- 戸畑事業所—北九州LNG事業所

### 全社組織図

昭和60年10月1日



### ＝ 第26回品質月間(11/1～11/30) ＝

テーマ「広がるQC 高まる活力」

「PDCA正しく回して豊かな職場」

## 川内2号機運開 <9/27>

### 着工以来無災害で工事完遂

九州電力株式会社川内発電所では1号機に隣接し2号機の増設工事を行っていたが、去る9月27日に同機は営業運転にはいった。

このボイラは変圧運転用超臨界圧貫流ボイラで蒸発量1700t/h、重原油各専焼及び混焼、重油/LPG及び原油/LPG混焼。タービンは串形衝動反動4分流排気式再熱再生復水形で出力50万kw。

また、当社はこの増設工事において昭和57年11月の先行工事着工

以来、全員の一致協力により無災害で工事を完遂した。

- なお、主な工程は次のとおり。
- S.57.11. 先行工事着手
- S.58.10. ボイラ鉄骨立柱
- S.59. 3. ボイラヘッダー揚げ
- S.59. 4. 復水器据付開始
- S.59. 6. タービン据付開始
- S.59. 8. 発電機オンベース
- S.60. 2. ボイラ火入れ
- S.60. 4. タービン通気
- S.60. 9. 営業運転開始



11月1日から30日までの1カ月間は「第26回品質月間」として、日頃の品質管理活動を振り返り、より一層品質意識を高め、活動を活発にするため、全国的に品質月間行事が実施される。

今回のテーマは

- 「広がるQC 高まる活力」
- 「PDCA正しく回して豊かな職場」

当社品質保証課では、この品質月間にちなんで品質管理の基本にかえり「在庫品の整理・整頓」を呼びかけると共に、「品質管理ポ

スターの募集」を全社的に行うほか、品質月間のポスター・標語・垂幕及びテキストを本店及び各現業機関へ配布し品質管理意識の浸透並びに向上をはかっている。さらに、年間行事の一環として8月に第2回品質管理活動社内研修会(同紙3面の研修会記事参照)を実施したのに加え、品質月間準備期間の10月にも第3回の研修会を予定している。

また、同月間中の11月27日には、熊本で「品質月間講演会」が開催されるが、本店各部及び現業機関からの参加者募集を計画している。

## 昭和61年度 高卒予定者定採試験行う (10月1日・2日)

[本店=10月1日・2日] 当社は、昭和61年度高校卒業予定者の定期採用試験を10月1日・2日両日の午前9時から福岡市中央区渡辺通の電気ビルで行った。

1日は機械系、2日は電気系と2日間にわたり、午前中に一般教養、専門、作文の試験、午後から面接、健康診断を行った。

本年度は、ここ数年めざましい

成長をとげているME産業のおちつきと地元就職希望が強いせいから



△問題に取り組む受験生

昨年比で競争率が高かった。九州各地から学生服に身を包み緊張した面持ちで問題に取り組んでいた現代っ子の学生が、平生の若者の姿にもどったのは午後の面接を終え帰途につく頃であった。

なお、高専、大学卒業予定者の定採試験は11月1日の予定である。

▷川内発電所(手前が2号機)

